

大駱駝艦 田村一行 舞踏公演
新作・川根本町限定作品

狩人 と 冬 の 鬼

2016年 2月28日 | 日曜日 |

14時開演 13時半開場 (会場) 川根本町文化会館

(入場料) 大人 1000円 小中高生 500円 未就学児童無料 年間パスポートでもご覧いただけます。

(振付・演出・美術) 田村 一行

(出演(大駱駝艦)) 田村 一行 松田 篤史 小田 直哉 小林 優太 藤本 梓 岡本 彩 赤石 太鼓保存会

(制作) 山本 良

助成:(一財)地域創造 平成27年度公共ホール現代ダンス活性化支援事業

大駱駝艦 田村一行 舞踏公演
新作・川根本町限定作品

狩人と冬の鬼

世界に誇る舞踏カンパニー
“大駱駝艦”の舞踏手、田村一行が川
根本町に三度登場。
赤石太鼓保存会との新作公演、乞う
ご期待!!

日時 ————— 2016年2月28日(日)
14時開演(13時半開場)

会場 ————— 川根本町文化会館

振付・演出・美術 ————— 田村 一行

出演(大駱駝艦) ————— 田村 一行 松田 篤史

小田 直哉 小林 優太

藤本 梓 岡本 彩

赤石太鼓保存会

制作 ————— 山本 良

少年が亡骸を凝視している
朝もやの山は、夢の匂いを残したまま
おとぎ話のおしまいの先
いのちは何でできている?
静寂に響く 祈りの一音
山のヒトが駆けた道
早く帰ると手をつなぐ

田村一行 (たむら いくこう)



日本大学芸術学部卒。1998年大駱駝艦に入艦。舞踏家・俳優である磨赤
児に師事。

02年より自らの振付・演出作品の創作を開始。緻密な振付で構成する作
品には、新たな舞踏の可能性が注目されている。08年文化庁新進芸術家
海外留学制度によりフランスへ留学。小野寺修二、宮本亜門、白井晃、渡
辺えり、笠井勲、ジョセフ・ナジの舞台など客演も多数。舞踏の特性を活
かしたワークショップは、各分野のアーティストのみならず、子供から

高齢者まで幅広く好評を得ている。

平成23年より一般財団法人地域創造現代ダンス活性化事業登録アーティスト。第34回舞踊
批評家協会新人賞受賞。 [大駱駝艦 HP] <http://www.dairakudakan.com>

舞踏とは

1950年代に日本で生まれた踊りの一つです。大駱駝艦は1972年、磨赤児によって旗揚げさ
れ、以来“舞踏界”を牽引してきました。白塗り・剃髪・裸体などの外見的特徴がインパクト
を与えますが、その根本にある、個人ならではの肉体と向き合う方法や、根源的な背景へア
プローチしていくという考え方は、広く芸術の世界に通じ、幅広いジャンルの人々に影響
を与え続けてきました。世界各国から注目される、日本を代表する舞台芸術の一つです。

赤石太鼓保存会 (あかいしだいこぼんかい)

1981年赤石太鼓チーム結成。翌年赤石太鼓保存会として発足。「まちおこし」をテーマの1
つに活動を継続し今年34年を迎えた。メンバーは幼児から70代まで総勢45名が在籍する。
地元を中心に演奏活動を行うが、県内外はもとより国外にも演奏活動の場を拡げている。川
根本町の郷土芸能として、欠かせない存在となっている。



平成24年度公演『ほぞま』©磨田耕治



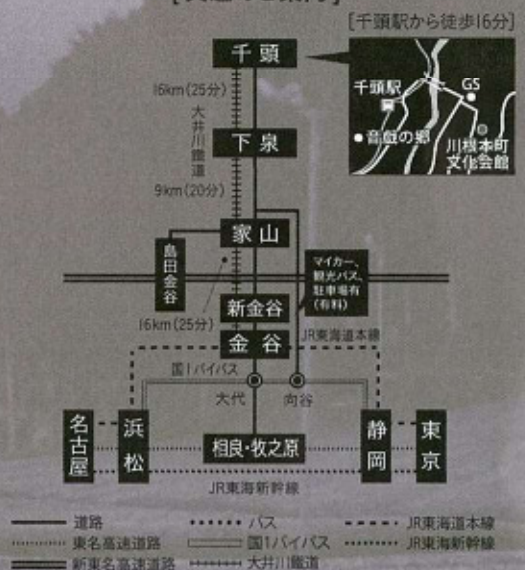
平成25年度公演『どっ』©磨田耕治

ワークショップ 「大駱駝艦の“舞踏”を体験しよう!

2016年 2月23日(火) 24日(水) | 講師 | 大駱駝艦 田村一行
19:00開始 (21:00 終了予定) | 会場 | 川根本町文化会館

料金 | 無料 | 対象 | 中学生以上 | 定員 | 20名程度

【交通のご案内】



チケット好評発売中!

大人 1000円 小中高生 500円

未就学児童無料 年間パスポートでもご覧いただけます

チケット取り扱い・お問合せ

川根本町文化会館

TEL.0547-59-3106

FAX.0547-59-3293

〒428-0414 静岡県榛原郡川根本町東藤川909-1

<http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp/>

こちらでも情報が確認出来ます <http://sd-lab.org/>